

環境あきた

AKITA

県民フォーラム 通信 No.24

発行日:2007.8.23

発行/NPO法人 環境あきた県民フォーラム
秋田県地球温暖化防止活動推進センター ACCCA
〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学会(秋田県ゆとり生活創造センター)内
TEL・FAX 018-839-8309
E-mail:mail@eco-akita.org ホームページ:http://www.eco-akita.org/

2007



コバイケイソウ

八郎湖 落陽

女の滝

写真提供:自然観察指導員
越前 久さん(秋田市)

目次

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------------|
| 平成19年度総会を開催しました!2 | エコドライブって何?6 |
| トピックス3~4 | 八郎湖再生への提言7 |
| ツバルからのメッセージ~私たちにできることは ...5 | 会員活動紹介 株式会社ヌノタニ7 |
| キャンドルナイト in あきた 20075 | 平成19年度ストップ温暖化 |
| 地球温暖化防止に向けた職員研修 | おらほのCO ₂ ダイエット作戦!!8 |
| (秋田県南部老人福祉総合エリア).....6 | お知らせ8 |



平成19年度総会を開催しました！



総会の様子

平成19年4月21日（土）秋田市の遊学舎会議室において、「あきた環境優良事業所認定証交付式並びに取組発表」と講演「電気電子技術を駆使した省エネルギー技術」終了後、平成19年度特定非営利活動法人環境あきた県民フォーラム社員総会を開催しました。社員総数49名中、委任状提出者を含む37名の出席がありました。

< 議 事 >

- ・平成18年度事業報告
- ・平成18年度収支決算報告
- ・会計監査報告
- ・平成19年度事業計画案
- ・平成19年度収支予算案
- ・理事の再任、退任、新任等

上記の案件について、承認され、閉会となりました。

木川弘理事が退任され、新しく工藤兼勝理事(にかほ市)が就任されました。

今後も、よろしくお願いいたします。



総会議長の蝦名理事



県生活環境文化部 加藤部長



新任理事の工藤兼勝さん

新規認定あきた環境優良事業所

- | | | |
|---------------------|------------------------------|-------------------------|
| ・(株)テクト (にかほ市) | ・拓進開発興業(有) (にかほ市) | ・IP - HITO (にかほ市) |
| ・賀祥山 禅林寺 (にかほ市) | ・医療法人YAMAZENさいとうクリニック (にかほ市) | ・(有)佐藤建築工房 (にかほ市) |
| ・両王山 光岸寺 (にかほ市) | ・中田労働安全衛生教育コンサルタント事務所 (にかほ市) | ・ラ ヴィオーラ (にかほ市) |
| ・皇宮山 蛸満寺 (にかほ市) | ・よしこの店五厘 (由利本荘市) | ・(株)佐々木栄商店 (にかほ市) |
| ・にかほ地区交通安全協会 (にかほ市) | ・(有)長沼製作所 (にかほ市) | ・にかほ市観光開発株 (にかほ市) |
| ・(有)出羽印刷 (にかほ市) | ・山卯建築工業 (にかほ市) | ・メカニックスフロンティア(株) (にかほ市) |
| ・(有)サン友商事 (にかほ市) | ・板垣理美容室 (にかほ市) | ・(株)秋田魁新報社 (秋 田 市) |

「あきた環境優良事業所認定証交付式並びに取組発表」と講演「電気電子技術を駆使した省エネルギー技術」



優良事業所認定証交付



新規優良事業所の皆さん

ことし2月の審査会であきた環境優良事業所に認定された21事業所への認定証交付式を行いました。業務多忙の時期ではありましたが、出席していただいた代表者へ山本理事長が認定証をお渡ししました。

その後、先進事例としてダイワ工業(株)の小松さん、エヌエス環境(株)の鈴木さんより自社の取組紹介が行われました。実体験に基づいた省エネ、CO₂削減方法など説得力のある内容で、この活動がもっと広がることを期待します。



優良事業所取り組み紹介の
エヌエス環境(株)秋田支店 鈴木さん



優良事業所取り組み紹介の
ダイワ工業(株) 小松さん

講演

「電気電子技術を駆使した省エネルギー技術」
～東海大学工学部電気電子工学科教授 木村 英樹氏



講師の木村教授

あきた環境優良事業所認定証交付並びに取り組み事例紹介後、上記講演会を開催しました。

木村教授は、地球環境と省エネルギーについて、エネルギーの現状や未来、そしてそれらを使用することによって地球環境にもたらす影響、省エネルギー・省資源の重要性を身近な日常生活を例にわかりやすいお話で、講演終了後、質問、意見が続出しました。

木村 研究室HP

<http://pubweb.cc.u-tokai.ac.jp/hideki/>



講演の内容にフムフム

クイズ 1 秋田県で、は1990年に比べて温室効果ガス排出量は何%ふえているか？
約6% 約15% 約23%

下浜海岸の植樹に、ノーベル平和賞受賞の ワンガリ・マータイさんがゲスト参加！



子どもたちと一緒に笑顔の
マータイさん

平成19年4月29日（日）秋田市の下浜海岸JR所有林に1,400人もの方が集まり、松枯れで壊滅的な打撃をこうむった海岸林の再生を目指して苗木10,000本を植樹しました。

この植樹には、アフリカの女性で初めてノーベル平和賞を受賞したマータイさんが参加され、

家族連れやこどもエコクラブ、団体参加、個人参加のボランティアと一緒に植樹を行いました。



じょうずに植えたね

今年で3回目を迎えるこの植樹は、JR東日本秋田支社とイオン環境財団の地域貢献活動の一環で行われています。

すくすくと育てて立派な海岸林になるのを見守りたいと思います。



ちょっと恥ずかしいかも



なかなか穴が掘れないぞ...



仲よし家族で植えました(^^)v



1年育ったマツ

2007 ワールド・エコノ・ムーブ in 大潟村

5月5日子どもの日、省エネ自動車耐久レースのワールド・エコノ・ムーブが今年も大潟村のソーラースポーツラインで開催されました。



やっぱ流線型よね

大会は今年で13回目を迎え、日本の各地から鉛蓄電池部門72チーム、燃料電池部門9チームが参加しました。

当日は、朝から降っていた雨もスタート時点で曇り空に変わり、風もなく、順調なレースになりました。



インパクトあるー

鉛蓄電池部門優勝は昨年度に続き東海大チャレンジセンター。監督は4月に記念講演をしていただいた木村英樹教授です。

また、燃料電池部門は、こちらも昨年度に続き中日本自動車短大が優勝し、秋田県勢も秋田工業高校が燃料電池部門6位、

鉛蓄電池部門ではフジシマ（大館市）や由利工業高校なども健闘しました。

7月には、ワールド・ソーラーカー・ラリーが開催され、若いみんなの努力と熱意で電気自動車の性能がアップすることを期待しています。



ちょっとトラブってます



整備は怠りなく(^^)v



静かなデッドヒート



やったー！

平成19年度新規推進員委嘱者導入研修会

平成19年6月9日（土）秋田市の遊学舎会議室で上記研修会を開催しました。

秋田県内で今年度新規に委嘱された推進員52名と市町村担当者を対象に、委嘱状交付、地球温暖化の現状・対策・推進員の役割説明、現推進員の活動紹介と環境活動お役立ちワークショップを行いました。

まず、秋田県生活環境文化部の桑原参事が「秋田県はCO₂排出量が減るどころか増加している。地球温暖化対策はみんなで取り組まなくては進まない。温暖化防止活動推進員の皆さんや市町村と一緒に頑張っていきましょう」とあいさつ。その後、新規推進員委嘱者の代表に委嘱状が手渡されました。昨年まで、推進員は市町村推薦を経ての委嘱となっていました。今年度初めて公募による推進員が24名誕生しており、秋田県地球温暖化防止活動推進員は全部で120名の大所帯になり、今後の活躍が期待されます。

導入研修に入り、まず最初に環境あきた創造課の高橋さんから、地球温暖化の秋田県の現状と対策・推進員の役割について説明がありました。

その後、現役推進員の朝倉孝子さんに活動紹介をしていただきました。

暮らしの中で少しの工夫が大切、みんなが気づけば社会が変わるといふ朝倉さんの話は、これから推進員活動を行う皆さんの共感を得ていました。

最後に参加者をグループに分けて「環境活動お役立ちワークショップ」を行いました。「わたしのカルテ」に基づいた自己紹介などでアイスブレイクをし、初対面の硬さをほぐし、グループ内で活発な話し合いが行われました。ワークショップのファシリテーターは当法人の理事でもあるNPO法人あきたNPOコアセンター理事長の小西さん、サブファシリテーターは吉田さんが担当し、グループの話し合いは活発に行われました。最後の各グループ発表では、お互いに熱心に聞き入っており、地域に愛情と誇りを持っている方ばかりで話はずきかずとほしかったという意見も聞



温暖化の現状説明
環境あきた創造課 高橋さん



生活環境文化部 桑原参事



新規推進員へ委嘱状授与

かれました。

地球温暖化防止活動は、他人のライフスタイルに口を挟むことが多く、難しいことが多々ありますが、120名の推進員活動の輪が広がれば...と思った研修会でした。



朝倉推進員の取り組み紹介



ワークショップが
始まりました



グループごとに、
あーだこーだ



発表です



うちのグループは...



こういうふうになっ
たすよ



ここが大事なこと
だっす



まとめた結果が...



こんな意見が
出ました



環境教育に大切なも
のは...



これって大事なこと
だよ



やっぱり山と川が
大事だす



ファシリテーターの
小西知子さん



サブファシリテーターの
吉田理紗さん

ツバルからのメッセージ ～私たちにできることは…



推進員の皆さん



創造課の高橋さん

平成19年6月21日(木) 秋田市の遊学舎で第2回秋田県地球温暖化防止活動推進員等知識研修会を「沈みゆく島国ツバルからのメッセージ」～地球温暖化による海面上昇の影響等～をテーマに開催し、推進員の半数以上の66名が出席しました。

講師には、NPO法人Tuvalu Overview代表理事の遠藤秀一さんをお招きしました。

はじめに、環境あきた県民フォーラム理事長の山本久博が、地球環境保全は待たなしの現状にあり、私たち自身がライフスタイルを考え直す時期にあるということから、自身の活動として大潟村で今年15回目になる「ワールド・ソーラーカー・ラリー」にかかわった経緯やCO₂排出ゼロの燃料電池車のレースを世界初で行っていること、原子力発電に頼らないエネルギーの開発や技術者養成などを目指しているという話をしました。ラリー車は、60W電球2本点灯可能な程度の蓄電池を搭載し、88kmも走行できるまで技術レベルが高くなっているということにビックリ。

県環境あきた創造課の高橋さんからは、秋田県の地球温暖化対策に対する現状と取り組みについて説明があり、秋田県では、2003年度CO₂排出量が1990年度比23.2%増という現状に対して、2010年度には1990年度比-9.5%削減を目標に取り組んでいくこととしている。それには、推進員の皆さんの更なる活動の広がり期待を寄せているということです。

NPO法人Tuvalu Overview代表理事で、ツバル国の取材に長く取り組んでいる遠藤さんならではの映像満載の講演では、生活の豊かさ、人間本来の生き方など深く考えさせられる講演内容でした。どこの国でも子どもたちの笑顔は宝物。地球温暖化防止に向けて自分たちのできることは...という問いかけで、便利なペットボトルだけれども、使わないという選択もあるという提案がありました。マイボトル持参の姿勢は説得力大です。参加した推進員の皆さんから「地域の小学校で伝えたい」「できることから始める」「推進員活動をする参考になった」など好評をいただきました。

NPO法人Tuvalu Overview

<http://tuvalu.site.ne.jp/>



講師の遠藤さん



子どもたちの印象的な笑顔



遠藤さんの活動へ賛辞



質問回答中の山本理事長

キャンドルナイト in あきた 2007



スローライブ...
ギターの音色に耳を傾け...

6月22日(夏至)・キャンドルナイトinあきた2007がキャンドルナイト実行委員会主催で、秋田市のココラボラトリーで開催されました。

夕暮れの優しい光が差し込む中、トークゲストの福祿寿の渡邊さん(若旦那)から差し入れられた蔵出しの冷酒を、自分で選んだ個性豊かな杯でいただきながら、参加者はほろ酔い気分でスタートを待ちました。

はじめのプログラム百杯会では、五城目町の酒蔵「福祿寿」の若旦那を迎え、「継ぐ」をキーワードに話が盛り上がりました。「温度管理が一番大変」「米こうじが風邪をヒク」「守りたい、古い物がいとおいしい」などの蔵元ならではの話から、同じく五城目町出身の主催者も「幼い頃は酒樽を打つ音が1日中街中で響いていた」と・・・そんな若旦那が目指すのは・・・「飲んで愉しめる酒」

スロリーディングには、可愛らしい小学生の少女2人が「ハチドリの一とすずく」をキャンドルのゆらめく暖かい光の中で朗読してくれました。

オープンマイクでは、各団体がイベント情報の紹介を!

スローライブではギターの音色を全身で感じる事ができました。

この夜、秋田ではいくつかの団体がキャンドルナイトを開催しています。気の合う仲間達と自分スタイルのキャンドルナイト(電気のない夜)を過ごし、年々、活動の輪が広がっています。



朗読をしてくれた
可愛らしい少女達

地球温暖化防止に向けた職員研修

(秋田県南部老人福祉総合エリア)



横手市大森町の秋田県南部老人福祉総合エリアにおいて、環境の達人地域派遣事業の一環として「地球温暖化対策・ゴミのリサイクル」研修を行いました。

講師は当法人の工藤兼勝理事(秋田県地球温暖化防止活動推進員)が担当し、1990年に比べると約34%も増加している秋田県のCO₂排出量の現状、エネルギー資源の限界について説明し、環境に優しい交通手段、循環型社会の形成のために不要なものを買わない、不要な包装は断る、ごみをできるだけ出さないなどの提案をしました。受講した皆さんからは、次のような感想がありました。

・秋田県のCO₂排出量が多くて驚いた

- ・環境問題の現実を聞いて厳しさを感じた
- ・興味深いことがたくさんあり、マイバッグ持参などできるところから始めたい
- ・身近にやるべきことがたくさんあることを知り、自分の意識の甘さを感じた
- ・資料がわかり易く説明も良かった...など、大変好評を得ました。

研修を通じて、環境問題について職員の意識の向上が得られたとのこと、「環境の達人地域派遣事業」の目的が達成されたようです。

このような研修等を開催する際には、当法人へご相談ください。



fi℃°℃°

エコドライブって何？



環境あきた創造課の進藤班長

平成19年度秋田県地球温暖化防止活動推進員研修第1回として、(社)日本自動車連盟秋田支部のご協力のもと「エコドライブ体験研修」を行いました。

6月16日(土)秋田市の免許センター実地コースを使い、JAFのインストラクターの指導のもと15名の推進員がエコドライブに挑戦しました。希望者40名強で2倍以上の倍率になり、センターとしては心苦しいものでしたが、抽選という方法で受講者を決定しました。

当日は、5台の車に燃費計を設置し、3人ずつのグループにインストラクターが一人という体験方法でした。

まず最初に環境あきた創造課・進藤さんが「エコドライブとは何か...という周知がまだまだというのが実情。自然を楽しむにいくドライブと思っている人も多い。自分も受けてみたい。皆さんも今日の体験をぜひ周りのかたがたに広げてください」とあいさつ。

その後、各車を担当するインストラクターやデータ集計等に当たるJAFの方々の紹介があり、JAF秋田支部の堀川さんからコース説明を受けました。インストラクターの皆さんは東北各県からおいでいただいていることもあり、秋田弁は、かなり難しい言語に当たるので、できるだけ標準語を目指した会話をお願いするという話は参加者に大受けでした。

いよいよコースに出て、それぞれ乗車する車に別れ、まずは普段と同じように運転しデータを取りました。

自分の乗りなれた車と違うこと、同乗者がいること、プロのインストラクターと一緒にという条件で、参加の皆さんは緊張感がみなぎっていました。

コースでの普通運転終了後、エコドライブの説明を受けました。一気にアクセルを踏み込まず、徐々に回転数を上げていく忍耐の必要なアクセル技術や前方の状況確認の重要性、車間距離の大切さなど、単なるノロノロ運転ではなく、安全性を重視しつつ燃費を良くすることが大切だということです。通常運転の発進時は既に急発進になっているといわれ、ホントだ...と皆さん納得です。



JAFの皆さん



JAF堀川さんによるコース等説明

説明を受け、コースでエコドライブの実習です。燃費計を見ると一目瞭然で、同乗者の見事なエコドライブに思わず拍手の挙がるグループもありました。

エコドライブの実習終了後は、一人ひとりのデータに基づいて反省点や良かった点などグループで質問タイムです。エコドライブすることにより、参加者全員30~60%も燃費向上していて効果は歴然でした。ただ、発進時のアクセルの踏み方がジワジワ過ぎて、この「ふんわりアクセルスタート」はイライラするという声も多く聞かれました。

最後にJAF秋田支部の遠藤所長が「心に余裕を持った運転を心がけて、エコドライブを周りの人にぜひ教えてください」と閉会のあいさつをされました。

JAFのプロの技を教えていただき、目からうろこが落ちた一日でした。ちなみに、前方に赤信号が見えたら、その時点で後続車に知らせるためにブレーキを一踏みし、あとはアクセルから足を離し、エンジンブレーキを使うと、かなり燃費が向上します。



いざコースへ



最初は私です



次の方、どうぞ



普通運転の次は、いよいよエコドライブ



実際のお手本を



なかなか難しいもんですね



乗車グループごとにデータを見ながら質問タイム



大した違うもんだすなあ



JAFの遠藤さん

八郎湖再生への提言

環境カウンセラー 藤原 儀弘

昭和32年（1957年）、国は、食糧増産の名の下、国内2番目の面積を誇る八郎湖の干拓事業に着手した。今年、それから50年という節目の年。

湖面の5分の4が姿を変えた水田は、減反が課せられるという時代の荒波にさらされて、「モデル農村」と呼ばれたはずがヤミ米騒動の渦中に置かれた時代もあった。

今、残存湖の湖面は、しばしば「アオコ」で覆われるときもある。湖の悲鳴を聞きかねて行政や市民が行動を始めた。過去50年、広い農地と引き換えに失ったものが多かったが、未来に向けた八郎湖再生プロジェクトが始まっている。原風景の再現を夢見て次世代に継承すべき私たちの責務がある。

その再生のために第一に環八郎湖10万人の原風景再現の意識改革が必要。それは、私たちが長年かけて汚した結果ということを受け止め、もっと八郎湖に関心を持ってほしい、消えた動植物の再生やきれいな湖になってほしいという思いが育つことが第一歩と思う。

第二には、地形的要因もあるが、干拓地を含む流入河川・水路からの汚濁低減が水質改善の最大のポイントであろう。流域全体の住民が湖の現状、水質保全に理解を深め、それぞれの立場で配慮する必要がある。「無代掻き」「不耕起」「乾田直播」などの栽培技術などによる環境保全型、持続可能な農業を目指す取組により水田が与える濁水等の負荷低減が重

要と思われる。

また、流域住民の心がけとして、各家庭が自然環境に負荷をかけない暮らし方をすることは大きな一歩となる。

第三に、閉鎖水域という特質からため池状態となっていて湖本来の自然浄化能力の限界をこえているため、外部からの導水という手段が考えられる。海水導入等、漁業との関連を考慮して検討すべき課題である。

第四に、自然浄化方法として湖岸の植生を再生すること。ヨシ、ガマを育て、ヨシキリがさえずり小魚が群れ泳ぐ湖岸で子どもたちが遊ぶ本来の八郎湖の復活を目指し努力すべきである。

秋田県では、「湖沼水質保全特別措置法」による国指定湖沼を目指しており、国、県、住民の協力体制が構築され有用な対策が実施されることが期待されている。



会員活動紹介

小型風力発電を環境教育に活かす

(株)ヌノタニ 総合電気設備業

地球温暖化対策や化石燃料に頼らない持続可能な社会にするために、太陽光や風力など自然エネルギーへの期待が年々高まっています。

特に、風力発電技術は急速な進歩を遂げ、世界各地で大型風力発電基地が次々に建設されるまでに発展しています。それと同時に小型風力発電も高性能の製品が次々と開発され、公共施設や一般家庭などに普及してきています。

また、最近では、学校でも小型風力発電機が取り入れられ、風力発電を環境教育やまちづくりに活用している自治体もふえております。

今、まさに、環境負荷の少ない自然エネルギー活用の推進に本気で取り組むべき時代。自然の力をCO₂排出などの負荷をかけずに電気の力に変えていくクリーンエネルギー。産業用の大型風力発電装置もさることながら、それぞれの生活環境にフィットした小型風力発電のニーズが高まっています。そんなニーズに応え、私たちの周りで吹いている風を利用して自分たちに必要な電気をつくる小型風力発電「そよ風くん」を提案しています。

〒011-0916秋田市飯島字穀丁大谷地253 - 4

: 018-847-5515 Fax : 018-847-5518

URL <http://www.nunotani.tv/top2.html>



由利工業高校



仁井田浄水場

平成19年度 ストップ温暖化 おらほのCO₂ダイエット作戦！！

一村一品プロジェクト

秋田県代表大募集

秋田県地球温暖化防止活動推進センターでは県・市町村自治体、地元の企業、団体、温暖化防止活動推進員、メディア等と連携して、地域における地球温暖化対策のシンボルとなる一村一品「おらほのCO₂ダイエット作戦」の取組事例の募集を行っています。

応募条件

地球温暖化防止や地域づくりの観点から、地域のシンボルとして広めたい事業、取り組みや活動などであれば形態は問いませんが、次の条件を満たすこととします。

1. 秋田県内で行われている、または地域ならではの取り組みであること。
2. エネルギー起源のCO₂(二酸化炭素)の削減に直接または間接的に貢献する取り組みであること。
3. 現在実施されている、または今後確実に実施が見込まれる取り組みであること。
4. 政治活動や宗教活動を主たる目的としていないこと。

例えば①

使用済み食用油を原料とするバイオディーゼル燃料の製造



例えば②

我が家は小さな発電所。(風力・太陽etc)



応募対象者

事業者、自治体、業界団体、市民団体、個人等、どなたでも応募可能

募集期間

2007年7月1日(日)～8月31日(金)必着

応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入し、応募案件のPRに適当な写真を1枚以上同封の上、郵送または電子メールにより期限までに下記に提出して下さい。応募案件についての参考になる資料等がありましたら自由に添付して下さい。(電子メールによる場合は、下記からダウンロードした様式に必要事項をご記入の上、JPEG形式の写真データを添付)

秋田県地球温暖化防止活動推進センター

NPO法人環境あきた県民フォーラム
〒010-1403 秋田県秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎内
Tel&Fax 018-839-8309
E-mail mail@eco-akita.org

応募案件については、ホームページ等でPRし、別途本事業で作成する「おらほのCO₂ダイエット作戦！！」紹介広報冊子に掲載します。

最優秀賞 1件

副賞 活動助成金 5万円

【優秀事例の取り扱い】

選考された最優秀賞事例および優秀事例については、全国大会への推薦および情報発信等を行います。

優秀賞 1件

副賞 活動助成金 3万円

第7回あきたエコ&リサイクルフェスティバル開催！！！！

大人も子供も“学び、体験し、楽しめる”あきたエコ&リサイクルフェスティバルが、今年もJR秋田駅前アゴラ広場周辺で、9月1、2日に開催されます。

実行委員会事務局 秋田県生活環境文化部環境あきた創造課
TEL/018-860-1574 FAX/018-860-3881
NPO法人 環境あきた県民フォーラム
TEL/FAX 018-839-8309



入会について あなたも参加しませんか♪

未来の子どもたちのために、秋田の環境をよりよくしていくという活動の応援団です。当法人の活動やこのフォーラム通信発行のために会費を負担していただいています。

会費

区分	社員	一般会員
企業・企業関係団体	1口：1万円 年1口以上	1口：1万円 年1口以上
個人・民間団体	1口：3千円 年1口以上	1口：1千円 年1口以上

会費納入について

秋田銀行 県庁支店 普通 560425 北都銀行 山王支店 普通 6099633
郵便振替口座 02280-7-76146

いずれも特定非営利活動法人 環境あきた県民フォーラム宛です。

なお、フォーラム通信送付の都合上、銀行振込の場合は事務局にご住所、お名前をご連絡ください。

NPO法人 環境あきた県民フォーラム
秋田県地球温暖化防止活動推進センター ACCCA

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎(秋田県ゆとり生活創造センター)内
TEL・FAX 018-839-8309 Eメール mail@eco-akita.org ホームページ http://www.eco-akita.org/

XgboVI

g >>

事務局から

台風の影響で37 年～という猛暑日もあったり、夜になるとグッと涼しくなったりと不安定な天気の日々。ラニーニャだから冷夏になるって気象予報士が言ってたけど、冷夏とか猛暑とか、ひとりで片付けられない複雑な気候になってるよ～なこのごろ。地球温暖化って言い方は日本だけなんだよね。世界では地球の温暖化による気候変動問題っていうとらえ方になってるのが多い。気候変動+2 という本、地球温暖化のビジュアルブックで、バラバラめくると、だんだん地球が暑くなってるのがわかるの、怖いー(ー;)

クイズの答え

クイズ1...

約23%

クイズ2...

2リットル

クイズ3...

約44km(ワールドエコノムープ記録より)